



GLOBAL MAPPING NewsLETTER 57

第 4 回 GEOSS アジア太平洋シンポジウムにおける地球地図の発表

小島 脩平

ISCGM 事務局



2010 年 3 月 10 日（水）から 12 日（金）までの 3 日間、インドネシア・バリのサヌールパラダイスプラザ ホテルアンドスイーツにおいて、第 4 回全球地球観測システム（GEOSS）アジア太平洋シンポジウムが開催されました。本シンポジウムには、世界各国の政府や研究機関などから 200 名以上が参加し、アジア太平洋諸国における水資源管理や災害、気候変動、生物多様性など様々な分野において、政府関係者、研究者等により議論や活動報告が行われました。

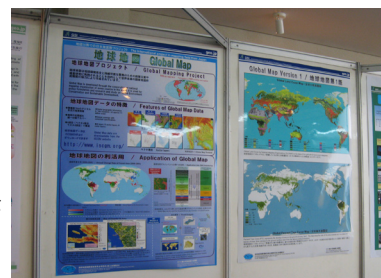
上記の分野での地球地図の利活用を促進するため、地球地図国際運営委員会を務める国土地理院から地理調査部環境地理課の小島技官が参加し、地球地図プロジェクトについての発表、地球地図を紹介するポスターの展示説明および関係者との意見交換等を行いました。

3 月 10 日に行われた全体会合では、各国の活動等について報告があり、翌 11 日には、4 つのセッションに分かれて詳細な活動報告・議論が行われました。このうちの「水文気象学関連災害と水資源管理」セッションにおいて、「社会利益分野における地球地図の利活用」というテーマで発表を行いました。本発表では、地球地図

プロジェクトの概要説明に加え、当該分野における地球地図利活用例として、降水量の将来変化シミュレーションデータを重ね合わせた図や、洪水解析システム IFAS における利用、人口密度や年間降水量、樹木被覆率の関係を表現する図などの紹介を行いました。また、会場内ポスター展示用の日本ブースにおいて、地球地図プロジェクトと地球地図第 1 版 - 全球版（土地被覆、樹木被覆率）の概略紹介のポスターを展示し、見学者に説明を行いました。



発表の様子



ポスターの展示

地球地図の利活用が期待される全球レベルの活動に関する研究・報告が多く、シンポジウム参加者からは、地球地図プロジェクトやデータ利活用について、前向きなコメントや意見を多数いただき、地球地図プロジェクトの果たす役割の大きさを感じました。今後も、これらの機関・研究者と協力・連携を深め、地球地図プロジェクトのより一層の推進を図っていく必要があります。

地球観測に関する政府間会合（GEO）第 6 回本会議

ジェイ・ドネリー

米国地質調査所 *nationalatlas.gov* 編集局長



地球観測に関する政府間会合（GEO）第 6 回本会議は 2009 年 11 月 17 日～18 日にワシントン D.C. において開催されました。地球地図国際運営委員会の決定と行動により、地球地図の利用が災害、人間の健康、農業、生物多様性および飲料水供給などの GEO の社会利益分野において促進されています。この週には、2 日間にわたるユーザ・インターフェース委員会会合をはじめ、多くの関連会合やワークショップが開催されました。ユーザ・インターフェース委員会は、ユーザの関与と GEO への参加の増大に焦点をあてています。地球地図の 2009 年の業績に関する状況報告が委員会の委員や会合参加者に発表されました。この発表では、地球地図仕様第 2 版をとりまとめるための参加型アンケートの利用、会合およびワークショップに焦点があてられました。

本会議には 80 のメンバー機関・参加機関から 300 名以上の代表の参加がありました。この公式会合の議事は、組織的な問題と全球地球観

測システム（GEOSS）の開始以来の重要な業績の説明に集中しました。オーストリア、マダガスカル、マルタおよびギニアが新メンバーとして迎えられ、国際デジタル・アース学会と国際地質科学連合が新しい参加機関として承認されました。新しい森林炭素トラッキングポータル、全球炭素モニタリングシステムおよび GEO 生物多様性観測ネットワークなど、いくつかの GEO の取り組みに関し、注目すべき発表がありました。現在の GEOSS 3 ヶ年作業計画の状況のなかで、新しい成果品とサービスの概要について発表がありました。これらには新しい全球標高データ（ASTER）の公開と LANDSAT の歴史的アーカイブのオンラインでの公開、全球地震計ネットワークおよび One Geology ポータルなどがあります。



地球地図の展示は本会議で展示された 30 以上のなかのひとつで、データと利用に関する概要を示すパンフレットが提供されました。地球地図は現在 GEOSS に登録されている 200 以上の構成要素のひとつです。

GEO の第 7 回本会議は 2010 年 11 月 3 日～5 日に北京で開催される予定です。

アジアハイウェイと地球地図プロジェクトのコラボレーション地図の作成

国土地理院（ISCGM 事務局）

日本国国土交通省及び UNESCAP 主催のアジアハイウェイ 50 周年記念セミナーが 2010 年 2 月 18 日～19 日まで東京で開催され、国内外の政府機関、地方公共団体、民間会社などから約 200 名が参加しました。

アジアハイウェイ・プロジェクトは、貿易、観光や域内の経済・社会発展を促進するための国際広域道路網を整備することを目的として、1959 年に国連アジア極東経済委員会（現、国連アジア太平洋経済社会委員会）メンバ国により提唱されました。現在、アジア 32 カ国が参加しています。

今回のセミナーに合わせ、国土地理院は、UNESCAP を始めとする関係機関のご協力により、地球地図とアジアハイウェイの路線情報を重ね合わせた地図を作成しました。これらの図は、アジアハイウェイの各路線の交通量と都市の地



国土地理院参事官の講演
(元 UNESCAP 派遣 JICA 専門家)

理的分布の関係等を把握することができるなど、アジアハイウェイ整備の政策立案等に役立てることができる。これらの図はセミナーの資料として配布されたほか、A0 版ポスターとして展示され、多くの人の興味を引きました。



地球地図の展示説明

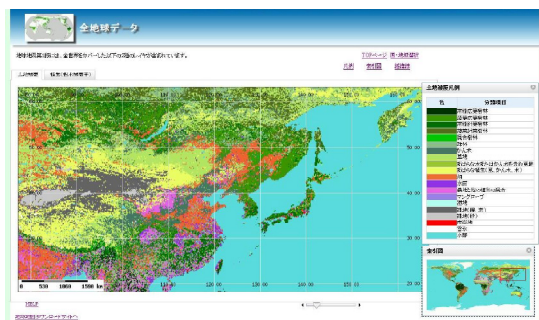
地球地図利活用促進のためのウェブ閲覧システムの開発

宮原 伐折羅

国土交通省総合政策局国際建設推進室国際協力官

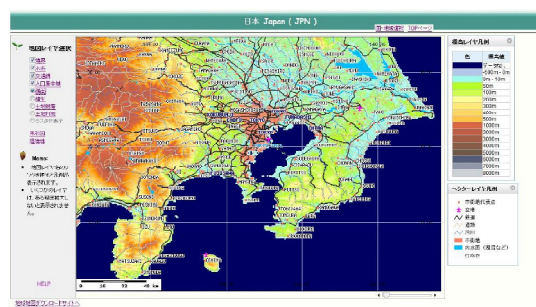
国土交通省では、地球地図のさらなる利活用を促進するため、平成 21 年度に地球地図のウェブ閲覧システムの開発を行ってきました。システムの公開は平成 22 年 4 月を予定しており、「みんなの地球地図」ホームページからアクセスが可能となります。

地球地図のウェブ閲覧システムでは、ウェブブラウザを用いて、地球地図のデータを表示することができます。全球の土地被覆・植生（樹木被覆率）のラスターデータが閲覧できるほか、サンプルとして、各地域数カ国について、4 種類（行政界、水系、交通網、人口集中域）のベクトルデータを 4 種類（標高・植生・土地被覆・土地利用）のラスターデータのうち任意の 1 つのデータに重ね合わせて表示することができます。



土地被覆のラスターデータ表示例（開発中）

また、地球地図データの利活用事例として、地球地図以外の地理情報を地球地図に重ね合わせて表示した事例を作成しました。アジアハイウェイの路線情報や台風の進路などを地球地図に重ね合わせて表示することができます。今後も政策決定に関係する利活用事例の拡充を検討するなど、サイトを充実していきたいと考えています。



東京周辺のデータ表示例（開発中）

本システムにより地球地図データやその利活用イメージについて多くの方に理解を深めていただき、地球地図の利活用が一層促進されることを期待しています。

「みんなの地球地図」ホームページ
<http://www.globalmap.org/>

事務局から

国土地理院の英語名称変更のお知らせ

ISCGM 事務局を務める日本国国土地理院の英語名称が **2010 年 4 月 1 日から**変更になります。地球地図をご利用になる際の出展の表示にご注意ください。なお、日本国国土地理院の組織、略称の GSI、住所・郵便番号、電話番号、メールアドレスなどに変更はありません。

現英語名）Geographical Survey Institute（GSI）

新英語名）**Geospatial Information Authority of Japan（GSI）**

下記国土地理院のサイトをご覧ください。

<http://www.gsi.go.jp/ENGLISH/index.html>

引き続き地球地図プロジェクトへのご協力をお願いします。

地球地図公開と地球地図プロジェクトへの参加

2010 年 3 月 25 日現在、164 カ国 /16 地域が地球地図プロジェクトに参加しています。そのうち 71 カ国 /4 地域の地球地図が公開されてます。

地球地図及び関連の会議

以下は地球地図及び関連の会合の予定です。関連の会合についての情報を歓迎します。

2010 年

- ・ 4 月 11 日～ 16 日、オーストラリア、シドニー
第 24 回 FIG 国際会議 2010
- ・ 5 月 27 日～ 28 日、英国、サザンプトン
第 30 回 ISO/TC 211 本会議
- ・ 6 月 22 日～ 25 日、ポーランド、クラクフ
欧州地理空間情報基盤会議（INSPIRE）2010
- ・ 7 月 20 日～ 23 日、米国、ハワイ、ホノルル
2010 年国際地球科学リモートセンシング会議（IGARSS 2010）
- ・ 10 月 19 日～ 22 日、シンガポール
第 16 回 PCGIAP 会合

- ・ 10 月 19 日～ 22 日、シンガポール
GSDI 12 会議

- ・ 10 月、シンガポール
第 17 回 ISCGM 会合

- ・ 11 月 3 日～ 5 日、中国
GEO- VII

- ・ 12 月 9 日～ 10 日、オーストラリア、キャンベラ
第 31 回 ISO/TC 211 本会議

2011 年

- ・ 7 月 3 日～ 8 日、フランス、パリ
第 25 回国際地図学会議（ICC 2011）



NEWSLETTER は地球地図情報紙として、世界中の国家地図作成機関や地球地図データ利用者など 1,200 名以上もの多数の方々に配布されています。記事の投稿、配布の希望、関連する情報などお待ちしております。

編集・発行：地球地図国際運営委員会事務局

連絡先：〒305 - 0811 茨城県つくば市北郷1番 国土地理院内

Tel: 029 - 864 - 6910 Fax: 029 - 864 - 6923

ホームページ: <http://www.iscgm.org/>

E-mail: sec@iscgm.org